

桐 生 市 教 育 委 員 会 定 例 会 会 議 録

開 会	令和8年4月15日（水）
閉 会	令和8年4月15日（水）
場 所	教育センター 3階 教育委員会室
出席者	教育長 小 林 一 弘 委員 板 橋 英 之 委員 山 野 玲 子 委員 松 本 昭 彦 委員 小 池 亮 子
欠席者	なし
説明のため 出席した職員	教育部長 河 合 恵 子 教育部参事 須 藤 英 隆 総務課長 戸 部 亜 樹 子 学校教育課長 金 子 公 江 教育環境課長 榆 井 正 弥 生涯学習課長 小 野 里 篤 史 文化財保護課長 向 田 澄 枝 市史編さん室長 渡 辺 浩 司 図書館長 尾 上 将 志
事務局職員 出席者	庶務係長 山 本 江 美 子 庶務係（担当） 栗 原 有 美
時 間	開 会 午後 2 時 00 分 閉 会 午後 2 時 37 分

提 出 議 案		
議 案 番 号	件 名	結 果
	なし	
発 言 者	発 言 内 容	
教育長	<p>それでは、これより桐生市教育委員会4月定例会を開会いたします。 ただいまの出席者は、5名であります。 直ちに会議を開きます。</p>	
教育長	<p>日程第1 会議録署名委員の指名を行います。 会議録署名委員は、会議規則第18条の規定により、板橋委員を指名いたします。</p>	
教育長	<p>日程第2 会期決定の件を議題といたします。 お諮りいたします。 今期定例会の会期は、本日1日といたしたいと思ひます。 これにご異議ありませんか。</p> <p><異議なしの声></p>	
教育長	<p>ご異議なしと認めます。 よって、会期は本日1日と決定いたしました。</p>	
教育長	<p>日程第3 事務報告について を議題といたします。 課ごとに順次報告をお願いいたします。 (総務課から順次、建制順に事務報告)</p>	
教育長	<p>ただいまの事務報告について、質疑に入ります。 委員の皆さんから、何かございますか。</p>	
松本委員	<p>年度の初めなので、いろいろあると思ひますが、各課で今年最大の課題や一番力を入れたいものを聞かせていただきたいと思ひます。方針的なものでも、抱えている行事などでも結構です。今年どんな形でどんなものが中心になるのかということをお聞かせいただければと思ひます。</p>	
教育長	<p>建制順でお願いします。</p>	

教育総務課長	<p>総務課では、昨年度より中学生の給食費を無償化してまいりましたが、今年度からは小学生も給食費の無償化を行います。これにより、義務教育期間中の給食費は全て無償化されたこととなります。</p> <p>そして子育て世帯の経済的負担を軽減するとともに、引き続き地産地消を推進することによって、子供たちの郷土愛を醸成したいと考えております。</p>
学校教育課長	<p>今年度の学校教育課において最も力を入れたい事業ですが、桐生市教育行政方針にもありますように、桐生の未来を担う世界に羽ばたく人材づくりという基本理念のもと、世界に羽ばたく人材の育成の一つとして8月21日から7日間にわたるアメリカジョージア州コロンバスへ市の派遣について力を入れて取り組んでまいりたいと考えています。</p> <p>10名の生徒がこの後決定いたしますが、派遣の生徒のそれぞれの目標や目的が達成できるようサポートしてまいりたいと思います。</p>
教育環境課長	<p>本課で最も力を入れたい事業でございますが、学校適正配置の推進でございます。学校規模等適正化に関する協議段階に応じた各種会議を開催し、保護者や地域住民の理解と協力を得ながら、児童生徒にとってよりよい教育環境の構築と質の高い学校教育の実現に向けた小中学校の適正配置を推進してまいります。</p>
生涯学習課長	<p>生涯学習課におけます令和8年度の主な事業として、二つお話したいと思います。まず一つ目が、放課後子供教室です。令和5年度から全ての小学校義務教育学校で開催しておりますが、令和8年度も継続して実施していきたいと考えております。その中でやはりコーディネーターやボランティアの確保というところが課題となっておりますので、様々な媒体等を活用して、ボランティア等の募集をかけたり、また各種団体と連携をして、安定した運営に取り組んでいきたいと考えております。もう1点は桐生市独自の親子参加型の教育プログラムとして産官民学が共同で行っております未来創生塾についてでございます。こちらは入塾されている方は限られた人数でございますが、各学校におけます基礎編ということで、MAYUを活用した事業を進めております。総合的な探究の時間等で活用していただき、より多くの子供たちに普段体験しないようなことを体験できるように学校と連携して取り組んでいきたいと考えております。</p>
文化財保護課長	<p>今年度は桐生明治館の建物の裏側の外壁塗装の塗直しや正面門の両脇に設置された木柵の改修工事を国の補助金や過疎債を活用し行う予定です。</p> <p>また文化財保護課では、今年度も引き続き各種講座事業および近代化遺産の日記念事業、また桐生明治館の活用を通して、文化財の魅力を発信してま</p>

	<p>いりたいと思います。</p>
市史編さん 室長	<p>市史編さん事業は令和4年度から令和18年度まで15年間という長い期間の事業になっております。そのため、市民の皆様に対する啓発や周知が大切になります。今年度は近世部会という部会で資料集を出す計画になっております。また、桐生市史研究という、今まで創刊号・2号が出ていますが、第3号を出させていただきます。また、例年行っておりますが、大体翌年の2月上旬ぐらいを目途に、市史編さん講演会を開催したいと考えております。</p>
教育長	<p>外に向かって発信しながら市史を編さんしているということですね。</p>
図書館長	<p>図書館で今年度力を入れていくことにつきましては、やはり新図書館の建設構想、こちらの方の推進を図るということに限っております。現在、新係として図書館建設準備室が用意されております。こちらの職員とともにこれから桐生市に求められる図書館のあり方について、業者委託をさせていただきながら、公募委員も踏まえた策定委員会とともに協議を進めていきたいというふうに考えております。</p> <p>今、市民の方が求めているものが何なのか、それを1年間かけてじっくりと吟味させていただいて、教えていただければというふうに考えております。</p>
松本委員	<p>ありがとうございました。各課ともいろいろな課題があり、きめ細かく対応していただけるということを改めて感じました。ありがとうございました。</p>
板橋委員	<p>質問ではありませんが、先ほど未来創生塾でMAYUを活用した事業という話がありましたが、将来的に例えばマユを全自動化して走らせて、スクールバスとしても使えるというように、MAYUのようなキーワードに小中高大学も繋がるような何か大きなプロジェクトができるといいかなと思いました。</p> <p>また質問ではありませんが、先ほどグローバルな子供たちが世界に羽ばたくという話がありましたが、最近、群馬大学の学生は英会話にスマホのAIを使っています。そういったものを子供たちが使えるようになれば、例えば学校でディスカッションをする際も、AIで訓練ができる場所があると、すごくハードルが低くなるのかなと思います。やはり知らないことを生の人間から言われると返せないのが恥ずかしいと思い、引っ込み思案になってしまいますが、相手がAIであればハードルが下がるかなと思います。各学校に全部でなくていいので、そういうことができる場所があると良いと思いました。</p> <p>先ほどの市史編さん室の委員に群馬大学の工業会というOB組織の関係者が誰か入っていますか。</p>

市史編さん 室長	入っていないかもしれないです。
板橋委員	100年史や150年史を作るときに、ずっと調べている会員がいるので、そういう人がメンバーに入るといろいろ手伝えるのではないかなと思いました。ありがとうございました。
教育長	他に何かございますか。
山野委員	先ほどのグローバルな話に繋がるのですが、小学校にも英語の学習が入ってかなりの年数が経ちましたが、コロンバスに行く子供たちはもちろん、桐生市の子供たちの英語教育の現状というのは今変化しているのか、お話しただけならと思います。
学校教育課長	ご質問ありがとうございます。ALTが各学校に1名、学校の規模によっては2名ほど中学校にあります。またそのALTが小学校にも派遣されておりますので、子供たちが英語に触れる機会というのはこの外国語活動が始まった当初から比べるとかなり増えているというふうに感じます。そのため、小学校6年生が中学校1年生に上がってきた段階で、「音」については、非常に子供たちが慣れてきているというか、成長しているなというのを感じるころではございます。ただ一方で、やはり書くということについては課題があるというのが正直なところかなというふうに思います。
山野委員	やはり環境作りというのが非常に小さい子ほど重大な部分を占めているかなと思いますので、世界に繋がる子供の教育環境ということで引き続き環境作りをお願いしたいと思いました。ありがとうございます。
教育長	新しく来ている2人のALTの活用について説明してはいかがでしょうか。
学校教育課長	はい。今年度より、ALTアドバイザーとして2名を配置することになりました。これまでALTとして実際に生徒を教えてきた経験のある外国人の方ですが、その2名の方に実際にALTや英語担当教員が授業しているところに向いてもらって、授業作りのアドバイスですとか、時にはT2T3というような形で授業に入って、ALTの授業力の向上を目指すため、今年度から配置をしております。
教育長	ALTも大学を出てすぐにこちらに来るような方も当然毎年いるので、経験者についてもらって、より具体的に授業の中で活用できるようにという趣旨

	です。かなり年齢的には上の方です。
学校教育課長	はい。もう経験は十分あるかなと思います。
山野委員	そういった方の人材確保も大変だろうなと思います。ありがとうございます。
教育長	他にありますか。
小池委員	続けて学校教育課長に伺いたいのですが、4 ページのタブレット活用実践講座について、昨年度もあったかと思うのですが、内容が一緒に参加される方が変わるというものですか。
学校教育課長	こちらについては、タブレットの操作にあまり長けていない方、初心者の方や、操作に苦手を感じているような方に向けて、タブレット操作の基本を扱うような研修となっております。その後で、もう一度タブレット活用実践講座②というものがあるのですが、この②については、タブレットの操作はわかっているけれども、授業の中で実際に効果的に活用するにはどんな方法があるかというようなことを研修する講座となっております。
小池委員	もう何年もやっているのですか。
学校教育課長	数年やっております。
小池委員	この講座の中から新しい有効的な使い方が紹介されるというところまではいかないのですか。
学校教育課長	基本的な授業作りの中で、こういった場面でタブレットを活用するとより効果的ですよというような情報共有も含めた場になるかと思います。
小池委員	実践というよりもまずは先生方が慣れるための講座ですか。
学校教育課長	はい。
小池委員	タブレットを持ち始めてそれなりの年数が経っていますが、保護者として使い方があまり変わっていないと思うところもあります。この初心者向けの講座の他により実践的な講座はありますか。

学校教育課長	<p>教育研究所の方で課題研究というものを毎年開講しており、本年度も ICT 機器活用研究班ということで小学校の先生 2 名、中学校の先生 1 名で授業における ICT 機器の効果的な活用方法の視点を見た授業作りを研究して実践事例集を作成するような研究を昨年度に引き続き行います。そちらを C4th (シーフォース) の書庫に保存し、先生方が授業作りの際にそれを参考にできるような、そんな課題研究も行っておりますので、そちらの周知の方も図ってまいりたいと思います。</p>
教育長	<p>質疑も出尽くしたようですから、これをもって質疑を終結いたします。</p> <p>日程第 4 次回以降の教育委員会定例会について確認いたします。5 月定例会については、5 月 18 日 (月) 午後 2 時から、桐生市教育センター 3 階教育委員会室での開催を予定しています。6 月定例会については、6 月 11 日 (木) 午後 2 時から、桐生市教育センター 3 階教育委員会室での開催を予定しています。次に、7 月定例会の予定について、事務局からご提案願います。</p>
教育部長	<p>7 月定例会については、7 月 8 日 (水) 午後 2 時からの開催をご提案申しあげます。</p>
教育長	<p>7 月定例会については、7 月 8 日 (水) 午後 2 時からという提案がありましたが、よろしいでしょうか。</p>
	<p><異議なしの声></p>
教育長	<p>ご異議なしと認めます。それでは、7 月 8 日 (水) 午後 2 時に予定させていただきます。会場は、追って、ご連絡いたします。</p>
	<p>以上で、本日の日程は終了いたしました。これをもって、桐生市教育委員会 4 月定例会を閉会いたします。ご協力ありがとうございました。</p>